



Solutions For The Future.

Business Report

2010年2月期決算報告書

2009年3月1日～2010年2月28日

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当期におきましては、株主の皆様のご期待に応えるべく、一貫して、企業安定性向上に向け、財務体質の改善と損益の黒字転換の推進に役職員一人ひとりが誠実に取り組んでまいりました。

その結果、全四半期において黒字を達成し、当期純利益におきましては、当初の連結業績予想を大幅に達成することが出来ました。当期の連結業績は、売上高21,112百万円、営業利益1,108百万円、経常利益573百万円、当期純利益1,807百万円となっております。

しかしながら、配当可能利益となる利益剰余金がマイナスであることから、当期におきましては、無配とさせていただいておりますことを深くお詫び申し上げます。

今後は、更なる収益性の向上を図り、企業価値向上を図ってまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表執行役会長


スコット キヤロン

代表執行役社長


岩崎 謙治

「いちごグループホールディングス株式会社」へ

当社は、今後の成長戦略として、筆頭株主であるいちごアセット・トラストの属するいちごグループの中核企業として、不動産を中心とした資産運用分野においてエクセレンスを目指してまいります。

この決意を明確にするため、2010年9月1日をもって当社の商号を「アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社」から「いちごグループホールディングス株式会社」と商号変更をいたします。

いちごグループの「いちご」は、千利休の高弟であった山上宗二が説いた茶人の心構えである「一期一会」に由来しております。同グループは、一期一会のもつ「人との出会いを大切に」という精神を理念とし、各ステークホルダーの方々と強固な信頼関係を築くことを目指しております。



当社は、この理念を共有し、お客様や株主様を始めとしたすべてのステークホルダーの皆様との誠実かつ長期的な関係を構築し、更なる成長を目指してまいります。

なお、当社の商号変更に伴い、当社子会社についても同日付で商号変更をいたします。

アセット・インベストメント・アドバイザーズ株式会社 ▶▶▶ 「いちご不動産投資顧問株式会社」

アセット・フィナンシャル・ソリューションズ株式会社 ▶▶▶ 「いちごソリューションズ株式会社」

アセット・ロジスティクス株式会社 ▶▶▶ 「いちごマルシェ株式会社」

亞盛資産管理股份有限公司 (アセット台湾) ▶▶▶ 「台湾益集果資産管理股份有限公司」

当期の取り組みについて

財務健全性の飛躍的向上と損益の黒字化達成

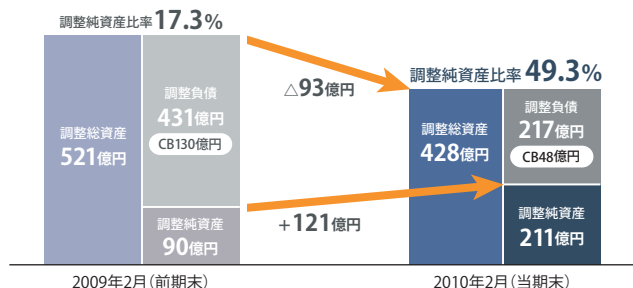
当期におけるわが国の経済環境、不動産業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況ではありましたが、緩やかながら回復の兆しも見え始めてきております。

このような環境下において、当社グループは、期首より掲げておりました更なる財務健全性の確保と損益の黒字化という目標を着実に達成することが出来ました。

また、地球環境保全への取り組みとして、今後3年間の当社事業活動における環境負荷をカーボン・オフセットし、「上場不動産会社初のカーボン・ゼロ企業」となっております。今後もCSR活動の推進を図り、社会に貢献してまいります。

資本の増強

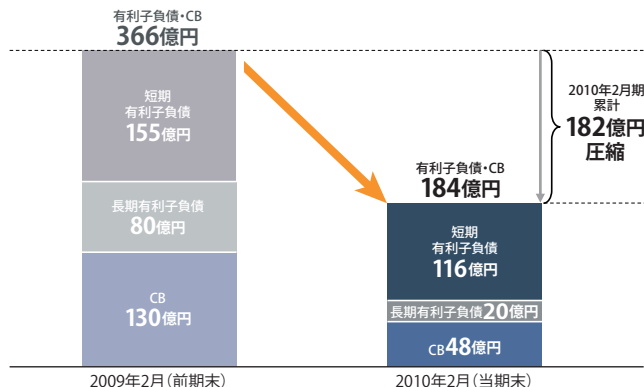
前期に引き続き資産売却を進め、調整総資産を前期末より93億円圧縮しております。また、純利益の計上、CBの転換の進展等により、調整純資産は、前期末比+121億円となりました。当期におきまして、飛躍的な資本の増強を実現することが出来ました。



※当社グループの連結ファンドに係る資産、負債の内、当社グループに帰属しないリスクを控除した「調整B/S」ベース

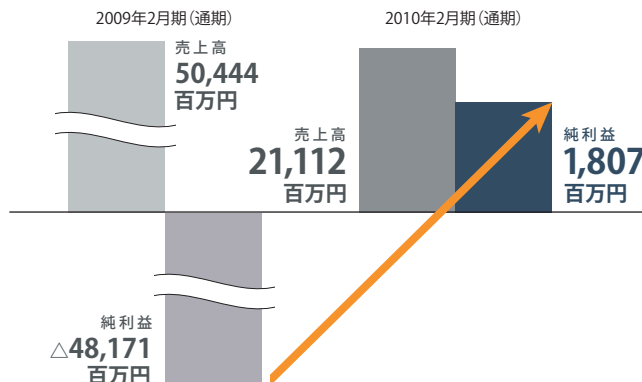
コーポレート有利子負債の減少

当期におきまして、企業投資案件21件、不動産4件の売却により、約82億円を回収いたしました。コーポレート有利子負債は、資産売却の進展等を通じ、着実に返済を進め、当期末には、前期末より半減いたしました。



通期黒字化の実現

当期におきまして、黒字転換に向け、取り組んでおりましたが、全四半期において黒字を実現し、当期における純利益は、1,807百万円となり、当初連結業績予想を大幅に達成いたしました。



2011年2月期連結業績予想

2011年2月期におきましては、海外及び国内の保有資産における売却確度や売却時期が不明確であり、業績に対しても大きな影響を与える可能性が想定されることから、現時点におきましては堅実な業績予想を策定いたしております。

(単位:百万円)		
区 分	第2四半期累計	通期業績予想
売上高	-	13,800
営業利益	-	1,000
経常利益	-	700
当期純利益	-	1,300

B/Sの健全化

当社は、本年5月29日付にて、資本金及び資本準備金の額を減少し、繰越利益剰余金に振り替えております。これにより、2009年2月期に生じた繰越欠損金は全額解消され、財務体質の健全性と株主還元を含む資本政策の柔軟性を確保することが出来ました。

(単位:百万円)			
剰余金処分後の当社個別資本構成			
	実施前	実施後	増減
資本金	23,138	15,683	▲7,454
資本準備金	4,055	0	▲4,055
その他資本剰余金	0	52	+52
繰越利益剰余金	▲11,457	0	+11,457

「再生」のステージから「成長」のステージへ

当社グループは、当期におきまして、飛躍的に企業安定性を向上させ、収益構造の転換を実現出来たと認識しております。2011年2月期には、更なる「成長」のステージとして、以下内容に取り組んでまいります。

- ① いちごグループの中核企業として新たなブランドの構築
- ② 収益性の向上
- ③ 安定的財務体質の更なる強化

当社は、ガバナンス、コンプライアンスの充実による更なる誠実経営の徹底を図るとともに、今後、いちごアセットとの良好な関係を通じ、優良な投資家や同社の投資先である不動産関連企業とのシナジーの追求による収益機会の拡大を図ってまいります。

M&A戦略の推進

当社は、本年3月に、戦略的M&A第1号案件として、「タカラビルメン株式会社」の全株式を取得いたしました。同社は、実質無借金 of 優良な財務基盤を保有し、かつ安定した収益を継続している優良な企業であります。

本件におきましては、効果的なM&Aスキームの実施により、投資効率の高いM&Aを実現することが出来ました。また、本件株式取得資金は全額金融機関からの借入により調達しております。今後、外部成長戦略の一つとして、引き続き、戦略的M&Aを推進してまいります。

「タカラビルメン株式会社」株式取得に係る実質負担額

株式取得金額 1,500百万円	売主への貸付控除額及び 現預金の負債超過額 (実質負担なし)
	実質負担額 790百万円

財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目			科 目		
当期 (2010年2月28日現在)			前期 (2009年2月28日現在)		
総資産			負債	76,745	127,929
流動資産	現金	10,728	借入金・社債(ノンリコースローン除く)	13,642	23,609
	営業投資有価証券	9,404	ノンリコースローン	50,653	78,649
	たな卸資産	—	CB	4,790	13,000
	販売用不動産	69,445	その他	7,659	12,670
	短期貸付金	766	純資産	23,523	12,945
	貸倒引当金	△ 4,604	資本金	23,138	19,083
固定資産	その他	3,156	資本剰余金	4,055	18,929
	有形固定資産	3,201	利益剰余金	△ 6,461	△ 27,803
	投資有価証券	7,197	自己株式	△ 36	△ 36
	長期貸付金	217	評価・換算差額等	△ 200	△ 1,449
	貸倒引当金	△ 6	少数株主持分他	3,027	4,221
	その他	758			
	繰延資産	1			
		126			

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期 (2009年3月1日から 2010年2月28日まで)	前期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)
売上高	21,112	50,444
売上原価	16,991	80,408
売上総利益	4,120	△ 29,963
販売費及び一般管理費	3,011	16,207
営業利益(△損失)	1,108	△ 46,170
営業外損益	△ 535	△ 7,944
経常利益(△損失)	573	△ 54,115
特別損益	1,380	△ 5,090
税引前利益(△損失)	1,953	△ 59,205
税金等	78	2,882
少数株主利益(△損失)	67	△ 13,916
当期純利益(△損失)	1,807	△ 48,171

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当期 (2009年3月1日から 2010年2月28日まで)	前期 (2008年3月1日から 2009年2月28日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,170	23,046
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,135	1,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,733	△ 35,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	△ 371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,433	△ 11,299
現金及び現金同等物の期首残高	18,098	32,463
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 2,936	△ 3,065
現金及び現金同等物の期末残高	10,728	18,098

<http://www.assetmanagers.co.jp/>

詳細は当社ホームページの「IR 情報」にてご確認ください。

株式情報 (2010年2月末現在)

発行可能株式総数：2,750,000株

発行済株式総数：1,750,275株

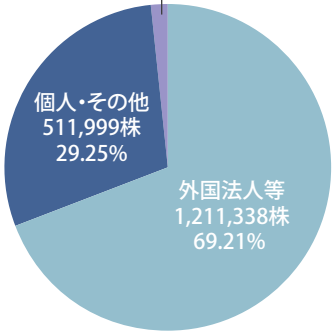
株主数：24,009名

大株主一覧

株主氏名	持株数(株)	持株比率(%)
いちごアセットトラスト	1,044,252	59.66
バンクオブニューヨーク ジーシーエム クライアントアカウントジェイピーアールディ アイエスジー エフイーエイシー	43,959	2.51
ユーロクリアー バンク エスエイ エヌバイ	28,787	1.64
ジェイピー モルガン クリアリング コーポ セク	19,997	1.14
シービーエヌワイ フォーラム ファンズ アブソリュート オポチュニティーズ ファンド	11,324	0.64

所有者別株式分布状況

金融機関	10,277株	0.59%
金融商品取引業者	9,486株	0.54%
その他の法人	6,935株	0.40%
自己名義株式	240株	0.01%



会社概要

【商号】アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社
(英文名: Asset Managers Holdings Co.,Ltd.)

【本社】東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
帝国ホテルタワー

【資本金】23,138百万円(2010年2月末現在)

【設立年月日】2000年3月17日

【上場日】2002年11月8日

【主要子会社】アセット・インベストメント・アドバイザーズ株式会社
アセット・フィナンシャル・ソリューションズ株式会社

【執行役】

代表執行役会長

代表執行役社長

執行役副社長 不動産部門責任者

執行役副社長 金融部門責任者

専務執行役 管理部門責任者

執行役 開発・CRE事業部担当

執行役 企画経理部担当

執行役 不動産事業部、大阪支店担当

スコット キャロン

岩崎 謙治

長谷川 拓磨

佐橋 数哉

石原 実

石松 昇洋

南川 孝

小笠原 行洋

株主メモ

事業年度	3月1日～2月28日（閏年の場合は2月29日）
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行の本支店 【お取扱い場所】 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター 東京：0120-232-711（平日9時～17時） 大阪：0120-094-777（平日9時～17時） http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	大阪証券取引所 ヘラクレス市場（証券コード：2337）
公告の方法	電子公告掲載URL http://www.aspir.co.jp/koukoku/2337/2337.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。

アセット・マネジャーズ・ホールディングス株式会社
（英文名：Asset Managers Holdings Co., Ltd.）

〒100-0011 東京都千代田区内幸町一丁目1番1号 帝国ホテルタワー

当社は、本資料の印刷時に消費する電力による環境負荷を京都メカニズムに基づくCO₂排出量のクレジットを利用することで、環境に配慮した資料制作を行っています。